

## PWSを持つ人の作話

作話とはどのようなことでしょうか？辞書の定義によれば、作話は記憶障害であり、自分自身または周囲についての作られた、歪められた、または正しくない解釈の記憶を創り出しているということです。意図的に嘘を付いているわけではありません。

作話は嘘とは異なります。なぜなら、彼らはその話を真に信じていて、ほかの人も信じるべきだと考えているからです。話の内容はいたって普通で、一貫性があり、筋の通ったものです。

これらの話の中身には全般的に誤りがありますが、このような内容は彼ら自身の記憶間違いや、彼らが、聞いたこと、読んだことなどからきています。作話は細部の小さな変更から、時には壮大でとても奇妙な作り話までさまざまです。

時には話は完全に間違っていて矛盾しています。しかし、証拠を用いて話を正したりすることで、難しい問題行動を引き起こしてしまうこともあります。どれほどあなたが論理的に話をしても、彼らはあなたの矛盾を問題にし、議論が続いてしまえばあなたはその話し合いに勝てないでしょう。

もしあなたが彼らに話が間違っていることを言ったら、彼らはとても感情的、不安になり、被害者のような気持ちになるでしょう。あなたは彼らの味方でなく、信じてはいけない人、あなたから嘘つきと思われると感じるなど、あなたのことを一切信頼しなくなるでしょう。

通常、作話は害のない、ちょっとした話の間違いです。一方でとても深刻な場合もあります。時には偽の話信じ過ぎて他の人や、警察まで巻き込んでしまうことがあります。

IPWSO relies on donations to support people with PWS and their families around the world. To find out more about our work and donate please visit us at [www.ipwso.org/make-a-donation](http://www.ipwso.org/make-a-donation)

それでは、どのように彼らの考えを変えたり支援を行えばいいのでしょうか？

Dr Janice Forster (MD, Developmental Neuropsychiatrist of the Pittsburgh Partnership, IPWSOアドバイザー) の助言は以下の通りです。

状況をよりよく理解する為に、以下の質問について考えて下さい。

- 振る舞いはPWSを持つ人の典型的なものですか？
- 双極性障害と診断されましたか？または、誇大妄想や気分が高揚する可能性のある薬を服用していますか。
- 社会生活に適応していますか？
- 生活の中で自由はたくさんありますか？
- 遺伝子型は何ですか？
- 両親の協力のもとに暮らしていますか、それとも自立していますか？

ほとんどのPWSを持つ人は、認知の特性として、自分の視野のみから物事を捉える傾向にあります。彼らは他の人の観点を理解することができます。しかし、自分の話を伝えようとしている時には、それはできません。しばらく時間が経ってから、彼らの話が本当ではないことを認めることができるかもしれませんし、または、その話をしたことはないと言うかもしれません。PWSを持つ人が作話をする時、彼らは本当にその話を信じています。ですから、説得力があり、彼らの考え方を変えるのは難しいのです。もう一つの認知特性として、PWSを持つ人は小さな情報をパズルのように繋ぎ合わせて、一つの物語を構成します。彼らは耳にした会話から少しの情報が入っただけで、説得力のある話を作りあげます。たくさんの人の前で話をすることによって、人々の注意を引くことができます。話の中身や話し手に注目が集まること、作話をやめられない要因でもあります。なぜなら話は本当でなくても、興味を持ってもらえるからです。

このような振る舞いを改善することは難しいです。ここで、いくつかの提案があります。

1. **自由を減らす**。たくさんの人から得る情報が多過ぎるのかもしれませんが。これは良い環境ではありません。また、コンピューターを使用する時間を制限し、よく目を配ります。
2. **聞き手をなくす**。よく会う人達に、彼らが不思議な話をしたら作話を疑って下さいと説明しましょう。それから、皆が知っている本当の話に話題を変えましょう。例えば、「あなたのスポーツコレクションについての話をして下さい。」または、「初めてラグビーの試合に行った時の話をして下さい。」等です。もし学校の場合、「とても興味深い話だけど、お母さんに確認しますね。」や「スポーツ選手と関係があると思うと自分も重要な人のように感じられますね」と言うように先生に伝えて下さい。話を無視したり、説得しようとしても意味がありません。大切なのは、彼らの自尊心を保つことです。
3. **関心がある事柄を利用する**。例えば、スポーツ選手や映画俳優になりたいなら、その人達のような生活習慣が必要です。体重管理や体操も含まれます。(スペシャルオリンピクスは適切に競争することや運動を行う上でとても有効です。)
4. **ソーシャル・ストーリーを利用する**。嘘をつくことがなぜいけないのかなど、ソーシャル・ストーリーはモラルを教えるに良い手段です。作話を話す人は想像力豊かな人が多いです。物語を書くと良いかもしれません。
5. **警察に事前に伝えておく**。警察と積極的に連携しましょう。子供が時々作話をすることを伝えておきましょう。もしもの時のために連絡先を覚えておきましょう。既に警察を経験しているのであれば、後見人を付けることを強く推奨します。裁判所では責任能力があると判断されてしまう可能性があります。彼らは例え知能が高くても、誰かの養護を必要とします。
6. **治療を検討する**。社会生活への適応性が高い人は他者との違いを比べてしまうかもしれません。嘘をついて自分を誇大化することがあります。
7. 薬がPWSを持つ人の性格に影響を及ぼしている場合は、服薬の調節をしましょう。